

## 用語集

ここでは、本文中で使用された以下の用語について解説しています。

### 目次

AI.....	125	循環バス.....	128
EV.....	125	ストックのリユース.....	128
GTFS-JP.....	125	スマホ.....	128
IoT.....	125	脱炭素社会.....	128
MaaS.....	125	デジタルサイネージ.....	128
PFI.....	125	デマンドタクシー.....	128
SDGs.....	125	デリバリータクシー.....	128
SNS.....	126	テレワーク.....	128
ZEV.....	126	都市計画道路.....	129
アプリ.....	126	乗合タクシー.....	129
インセンティブ.....	126	ノンステップバス.....	129
インバウンド.....	126	パーク&ライド.....	129
エリアマネジメント.....	126	バス接近表示システム（バスロケーションシステム） .....	129
オープンデータ.....	126	バリアフリー.....	129
オフピーク通勤.....	126	フィーダー線、フィーダー交通.....	129
カーシェア.....	126	プラットフォーム.....	129
カーボンニュートラル.....	126	方向幕.....	129
空港連絡バス.....	126	ホスピタリティ.....	130
グリーンスローモビリティ.....	127	マイクロツーリズム.....	130
公共交通.....	127	ミッシング・リンク.....	130
公共交通不便地域.....	127	モビリティ・マネジメント（MM）.....	130
交通結節点.....	127	ユニバーサルデザインタクシー.....	130
交通結節機能.....	127	ユニバーサルドライバー研修.....	130
交通需要マネジメント.....	127	ラストワンマイル.....	130
交通まちづくり.....	127	ランドマーク.....	130
交通モード.....	127	リアルタイム運行データ・情報.....	130
交通モードのベストミックス.....	128		
コンパクト・プラス・ネットワーク.....	128		

## AI

Artificial Intelligence：人工知能の略。

人間の知能をコンピューターを用いて人工的に再現したもの。

## EV

Electric Vehicle：電気自動車の略。自宅や充電スタンドなどで車載バッテリーに充電を行い、モーターを動力として走行する。エンジンを使用しないため、走行中に二酸化炭素を排出せず、環境性能が高い。

## GTFS-JP

静的バス情報フォーマットのこと。公共交通機関の時刻表とその地理的情報に使用される共通形式を定義したもの。「標準的なバス情報フォーマット」における静的データフォーマットであり、国際的に広く利用されている公共交通用データフォーマット「GTFS：General Transit Feed Specification」を基本に、日本の状況を踏まえて拡張されている。GTFS-JP は GTFS と互換性があるため、Google マップをはじめとした海外の事業者へも情報提供を行うことが可能になっている。

## IoT

Internet of Things：モノのインターネットの略。

「様々な物がインターネットにつながること」「インターネットにつながる様々な物」を指す。

## MaaS

Mobility as a Service の略。

地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済等を一括で行うサービスであり、観光や医療等の目的地における交通以外のサービス等との連携により、移動の利便性向上や地域の課題解決にも資する重要な手段となるもの。

## PFI

Private Finance Initiative の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。導入により、国や地方公共団体の事業コストの削減、より質の高い公共サービスの提供を目指す。

## SDGs

Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標の略。「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標であり、2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられた。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されている。我が国では、SDGsアクションプランにおいて、2030年の目標達成に向けた行動を行うこととされている。

## SNS

Social Networking Service の略。

登録された利用者同士が交流できる Web サイトの会員制サービスのこと。

## ZEV

Zero Emission Vehicle：ゼロエミッション車の略。

排出ガスを一切出さない電気自動車や燃料電池車を指す。

## アプリ

アプリケーションソフトウェアの略。目的にあった作業をする応用ソフトウェアのこと。

## インセンティブ

モチベーションを維持・増幅させるための外的刺激のこと。

## インバウンド

外国人が訪れてくる旅行のこと。本文では、特に外国人の訪日旅行を指す。

## エリアマネジメント

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取り組みのこと。

## オープンデータ

国、地方公共団体及び事業者が保有するデータで、誰もが編集・加工等がしやすい形でインターネットに公開された状態のデータのこと。

## オフピーク通勤

通勤時の混雑時間をさけて通勤することをいう。

## カーシェア

カーシェアリングの略。複数の人が自動車を共同で所有・利用する自動車の共同利用システムで、必要なときに必要なだけ利用する新しい自動車の使い方。総自家用車数と利用回数の減少に効果がある。

## カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味する。

## 空港連絡バス

ホテルなどから直通で空港へと運行するバスのこと。

## グリーンスローモビリティ

時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。導入により、地域が抱える様々な交通の課題の解決や低炭素型交通の確立が期待される。

## 公共交通

不特定多数が利用できる交通機関のこと。なお、地域住民の日常生活や社会生活における移動、また、観光旅客その他の地域を来訪する者の移動のための交通手段として利用される公共交通機関のことを地域公共交通といい、本文では、鉄道、バス、タクシー等を指す。

## 公共交通不便地域

公共交通利用が不便な地域であり、鉄道駅あるいはバス停から一定距離以上離れた地域を示す。補助金交付要綱で、交通不便地域として「半径 1km 以内にバスの停留所、鉄軌道駅、海港及び空港が存しない集落」が例示されており、その定義を用いている地域が多い。他の指標を用いている例としては、距離以外に、人口密度が一定（例：100 人/km<sup>2</sup>）以上の地区に限る場合、住宅地域に限る場合、運行本数も考慮する場合（例：オフピークに 2 本/時未満は除く）などがある。

## 交通結節点

人や物の輸送において、複数の同種あるいは異種の交通手段の接続が行われる場所、複数の交通モード間の不連続点のこと。

## 交通結節機能

交通結節点が担う機能。具体的には、複数の交通手段相互の乗り換え及び歩行の効率化のための「乗り換え機能」を基本とし、都市機能の誘導・集積を促進させ、都市内の中心的な拠点地区を形成する「拠点結成機能」及び「都市の顔・ランドマークとしての機能」があげられる。

## 交通需要マネジメント

ロードプライシング、公共交通機関の利用促進など、車の利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市または地域レベルの交通渋滞を緩和する手法の体系をいう。

## 交通まちづくり

鉄道駅を中心として業務施設、商業施設、教育・文化施設・公園緑地などの公共施設、そして住宅地など生活に必要な機能を集約し、歩いて暮らせることを基本に、公共交通などによる移動の利便性を高めたまちを整備すること。

## 交通モード

交通手段、輸送方式のこと。本文では、徒歩、自転車、クルマ（自家用車など）、タクシー、バス、鉄道などすべての移動手段を指す。

## 交通モードのベストミックス

地域の特性に応じて、公共交通と自動車交通を効率的に組み合わせ、利便性の高い交通体系を構築すること。

## コンパクト・プラス・ネットワーク

住宅や商業施設、医療・福祉施設などの生活サービス施設がまとまって立地し、住民が公共交通や徒歩などにより、これらの施設に容易にアクセスできるまちづくりの考え方をいう。

## 循環バス

始発点と終着点が同一になる運行形態をとるバスのこと。

## ストックのリユース

ストックは資本等の蓄えや在庫、リユースは循環資源を再利用することを意味する。本文では、既存ストックを有効活用することをストックのリユースと表現している。

## スマホ

スマートフォンの略。従来の携帯電話に比べてパソコンに近い性質を持った情報機器のこと。

## 脱炭素社会

地球温暖化の原因となる、温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを実現する社会をいう。

## デジタルサイネージ

屋外・店頭・公共空間・交通機関など、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアを総称していう。

## デマンドタクシー

デマンドとは要望のこと。乗客から事前に連絡（予約）を受けて、基本となる路線以外の停留所に立ち寄ったり、運行を開始したりするなど、乗客の要望を運行に反映できる運行形態を取ったタクシーをいう。

## デリバリータクシー

タクシー事業者による食料・飲料宅配事業をいう。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う食料・飲料の運送に係るニーズの増加を踏まえ、貨物自動車運送事業法の許可の取得や一定の安全管理等に係る措置を講じることを前提として、タクシー事業者が特例措置の期限後も食料・飲料の運送ができるよう措置された。

## テレワーク

情報通信技術等を活用し、普段仕事を行う事業所・仕事場とは違う場所で仕事をする事。

## 都市計画道路

都市の骨格を形成し、安心して安全な市民生活と機能的な都市活動を確保する、都市交通における最も基幹的な都市施設として都市計画法に基づいて都市計画決定された道路のこと。

## 乗合タクシー

同じ方面へ向かう不特定多数の乗客が相乗りで利用するタクシーのこと。車両の乗車定員は 10 人以下で、定時定路線で運行する形態と、事前に予約を受けて運行するデマンド型等の形態がある。

## ノンステップバス

車いすやベビーカーなどでも利用しやすいよう、床面を低くして、乗降口の段差（ステップ）をなくしたバス。

## パーク&ライド

都心部等での道路交通混雑を避けるために、都市の郊外部において自動車を駐車し、鉄道・バス等の公共交通機関へ乗り換える手法。

## バス接近表示システム（バスロケーションシステム）

運行中のバスの位置情報をGPS（Global Positioning System：全世界的な無線測位システム）車載器でリアルタイムに把握することにより、バスの現在位置・運行状況・遅れ等の情報を提供するシステム。略してバスロケともいう。

## バリアフリー

高齢者、障害のある人等が社会生活していく上での物理的、社会的、制度的、心理的および情報面での障壁（バリア）を除去するという考え方。公共交通機関のバリアフリー化とは、高齢者、障害のある人等が公共交通機関を円滑に利用できるようにすること。

## フィーダー線、フィーダー交通

一般的には幹線（地域間幹線バス系統や鉄道など）と接続し、地域内の移動を支える支線の役割を担うバス・乗合タクシーなどを指す。

## プラットフォーム

インターネット上で利用者とサービス提供者を結び付ける基盤（プラットフォーム）となるサービスやシステムなどを提供・運営する事業者のこと。

## 方向幕

バスや電車の行き先・運行区間・路線名などを、車両の前面や側面に表示する幕を使用した装置のこと。

## ホスピタリティ

思いやり、心のこもった手厚いおもてなし、歓待を意味する。本文では、ただサービスを提供するのではなく、相手の立場に立ち心を込めて尽くすことを指す。

## マイクロツーリズム

自宅からおよそ 1 時間圏内の地元や近隣への短距離観光のこと。新型コロナウイルスによって打撃を受けた観光業界を救う手段の一つとして、株式会社星野リゾートの代表・星野佳路氏が提唱した。

## ミッシング・リンク

つながりを完結するのに欠けている部分のこと。本文では、特に道路・交通ネットワークにおいて連続性が欠けた部分を指す。

## モビリティ・マネジメント (MM)

一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会にも個人にも望ましい方向（例えば、過度な自動車利用から公共交通や自転車等を適切に利用する方向）に自発的に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした取り組み。

## ユニバーサルデザインタクシー

健康な方はもちろんのこと、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい“みんなにやさしい新しいタクシー車両”であり、街中で呼び止めてもよし予約しても良しの誰もが普通に使える一般のタクシー。運賃料金は一般のタクシーと同じである。

## ユニバーサルドライバー研修

タクシー乗務員の接客向上のための教育研修であり、利用者とのコミュニケーション、車いすの取り扱いや乗降時の介助方法等について実施される。

## ラストワンマイル

最終目的地までのワンマイル（約 1.6km）程度の区間のことを言う。例えば、最寄りの駅やバス停から自宅までの区間がワンマイルに当てはまる。

## ランドマーク

都市景観や田園風景において目印や象徴となる対象物。歴史的、文化的に価値のある建造物、記念物、町並み、領域の境界を示す境界標などがある。

## リアルタイム運行データ・情報

リアルタイムは即時の意味。本文では、交通機関についての位置情報や遅延・運休などの運行状況について即時で地図や端末上に提供されるデータ・情報を指す。